

連絡先

穂高町

〒399-8301

長野県南安曇郡穂高町豊里
舎爐夢（シャロム）ヒュッテ
安曇野ハートマネー事務局

0263-83-3838

担当者

臼井 健二

開始時期

1999年12月ハートマネー
安曇野リング開始 通帳
式 現在は紙幣式

運営主体（団体名）



安曇野ハートマネー事務局

実例 何と何を交換？

円との関係は？

メンバーの持つ趣味や経験、特技を生かしてサービスや物のやり取りが行われる。パソコン教えます、話し相手、安曇野案内などなど。また商店でも100%使える。日本円との交換も可能です。

導入によるメリット及び効果

このシステムは商店街でも受け入れやすいシステムです。消費税分地域通貨を還元するサービスも可能です。資金は内部にとどまり商店街での循環がより以上の経済効果を生み出します。NPO などでも集まった資金を活動費として使えます。

通貨方式

紙幣式（財担保証券）

導入のきっかけ

競争と分断を強いる資本主義により貧富の差が生まれ自給自足の経済が破壊されていきました。物は豊になったけれどコミュニティは崩壊しお金が全ての世の中になりました。そんなときにNHK 特集「エンデの遺言」の番組に触発されて。

情報公開手段

<http://www.ultraman.gr.jp/~love/>

単位

PEACE
P

大まかな参加人数と地域
100人 安曇野一帯

参加方法・参加費

1口に付き交換手数料と10000円か同等の物品サービスで11000Peace受領できる。また10000Peaceは9000円と交換できます。集まった資金はピースユニオン（銀行）にて諸経費のみで会員やNPO、プロジェクトをサポート（融資）します。

課題／悩み

受け入れてくれる商店や会員の確保 広報PRなどがこれからの課題です。

備考／将来像

2001年3月システムを通帳式から紙幣式に修正 商店街等でも使いやすいシステムにしました。名前を安曇野ハートマネーとし単価をピース（財担保証券式）とする。2002年5月ピースユニオン（銀行）設立。NPO等は日本円を 参加者は地域通貨を使うことによって2倍の資金を運用できます。地域通貨に参加することが地域を支えることとなります。このことによって地域の活性化と地域への支援が同時に可能です。新しい地域通貨の在り方として今注目されています。